

「川に学ぶ体験活動協議会」活動報告

川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

全国各地で川をフィールドに様々な活動をしている団体を中心になって、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的に設立された「川に学ぶ体験活動協議会」(略称RAC)は、平成12年9月6日の設立から約2年半あまりが経過し、設立当初12団体でスタートしたものが、平成15年4月には96団体が加入する協議会へと成長しました。

平成14年度は、これまで40年にわたって青少年教育の実践を行ってきた大野重男さん(財団法人ハーモニセンター理事長)を代表理事として迎え、「すばらしい教育力を持っている水辺の活動を、イベントではなく自立常設していこう」という新方針のもとに、下記のような活動を行ってきました。

＜平成14年度の実施事業＞

【指導者育成：「指導者養成講座」(初級)】

川で安全な体験活動を実施できる指導者を育成するための講座を15箇所で開催し、約400名が受講されました。この講座を受講するとCONE(NPO法人自然体験活動推進協議会)のリーダーとしての登録が可能になります。

【指導者育成：「指導者養成講座」(中級1)】

自立・常設が期待できる5つの地域において、河川法や、流水の科学や救助技術、法律知識を習得するための中級1講座



熊本県白川「グループワーク」

を初めて開催し、約120名が認定を受けました。この講座により川の指導者の意識がワンランクあがったと実感します。水辺に子どもを安全に誘う方法を学び、法律や災害時の救助について等を学ぶことで、これまで遊びのフィールドだったところが社会貢献の場になるという期待と自信が芽生えたのだと思います。

【子どもの水辺安全講習会】

子ども達自らが、総合学習や川での体験活動に役立つ危機管理の基礎知識を「セルフレスキュー」の観点から学習するもので、6箇所で開催されました。



北海道千歳川「流れを知る」

小学校の理科の授業を川で実施する際にもRAC指導者が安全講習とサポートを行いました。

【RACフォーラム】

各地域で実施されている講座の主催者や受講者等約80名が集い、平成15年1月11日、12日に、茨城県藤代町を会場に、①学校教育現場や地域社会に役立つ川の指導者のあり方の検討、②指導者育成講座の質的改善、③指導者のスキルアップおよび、④指導者相互の交流を図る事を目的にフォーラムを開催しました。

＜今後へ向けて＞

平成15年からは、活動をさらに発展させるため、RAC事務局に専任事務局を置き、さらに、6月の総会でNPO法人として申請する予定です。また、自立・常設化を促進するために6月19日、20日に、各地でRACの指導者養成講座を実施できるトレーナーの研修会を東京で行うことにしています。

水辺で子どもを体験させることを通じて、「稼ぎ」ではなく地域で必要とされる「仕事」を率先して担う人を育成し、山紫水明の日本を蘇らせるためにも、当協議会の活動へ温かい支援をぜひお願いします。(RACの詳しい事業計画、収支内容等については、RACのメルマガやホームページ(<http://www.rac.gr.jp>)にてお知らせしますので、ぜひご覧下さい。)

＜川に学ぶ体験活動協議会＞

東京都中央区入船1-9-12 河川環境管理財団内

TEL.03-3297-2608 FAX.03-3297-2609

(子ども水辺サポートセンター内)